

沼津市立病院広報誌

numa^pital

ぬまピタル

vol.36
Jan.2026

見開き
特集

最新式レーザーで行なう前立腺肥大症と尿路結石症の治療



泌尿器の悩みは、
私たちにおまかせください

最新式レーザーで行なう前立腺肥大症と尿路結石症の治療

診療部長 兼 泌尿器科部長 公平 直樹

Profile 公平 直樹

高知医科大学を卒業後、京都大学医学部附属病院に勤務。静岡県立病院等の医療機関での勤務を経て、2019年1月より当院非常勤医師として、2019年4月より部長として当院勤務。

沼津の好きなところ：穏やかな気候
趣味：子どもと遊ぶこと

資格：日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本臨床腎移植学会認定医、日本移植学会認定医、日本泌尿器内視鏡学会技術認定医



前立腺肥大症や尿路結石の治療を、もっとやさしく、もっと確実に——そんな期待を背負って令和7年6月に導入された最新医療機器「ハイブリッドツリウムヤグレーザー」について、公平医師にお話を伺いました。

Q. 「ハイブリッドツリウムヤグレーザー」とは、どんな医療機器なのでしょう？

A. 「前立腺肥大症」と「尿路結石」の両方に対応できる最新式の医療機器です。従来はそれぞれ別のレーザーを使っていたのですが、この機器は1台で両方の治療が可能です。県内では初めて、全国でも13番目の導入です。

Q. なぜ「ハイブリッド」と呼ばれているのですか？

A. 前立腺肥大症の治療には「じわじわ削る」ような連続波を、尿路結石の治療には「パチツと砕く」パルス波を使います。この医療機器は、連続波とパルス波の2種類のレーザーを出力できます。つまり、1台で両方の治療に対応できる「ハイブリッド」性能なのです。

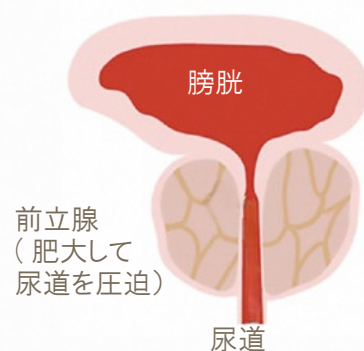


Q. この医療機器により、前立腺肥大症の治療は、これまでとはどのように違うのでしょうか？

A. これまでの前立腺肥大症の手術は、出血を伴うため、血液をサラサラにする薬を飲んでいる人には危険がありました。でも、このレーザーは出血がほとんどなく、体への負担が少ないのが特徴です。そのため、高齢の方や持病がある方でも、安心して受けられるようになりました。

また、前立腺をくり抜く治療である「HOLEP^{ホーレップ}」という方法もあり、効果は高いですが、時間がかかるうえに、かなりの技術が必要です。それに対して、今回のレーザーでは、前立腺を「蒸発させる」ように削る方法なので、手術時間が短く、体への負担も少なくて済みます。前立腺をくり抜かなくても、おしっこが出やすくなりますので、より多くの患者さんに効果のある治療です。

前立腺肥大症の治療前



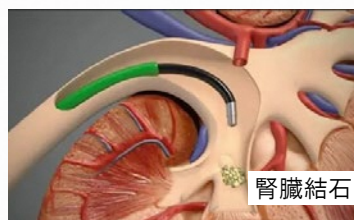
前立腺肥大症の治療後



Q. 尿路結石の治療については、いかがでしょうか？

A. このレーザーは、尿路結石をととても細かく砕くことができます。また、手術にかかる時間が短くなり、治ったあとにまた結石ができる心配も少なくなります。さらに「アクセスシース」という吸引するための器具を使うと、砕いた結石をすぐに吸引出すことができるため、腎

臓の中に結石が残らず、きれいに取り除くことができます。これまでも、体の外から衝撃波を照射して結石を壊す方法や、腎臓に小さな穴を開けて結石を取り出す方法などがありました。しかし、それぞれ体への負担や、合併症のリスクなど難しい点がありました。今では、レーザーと内視鏡の技術が進んだことで、体への負担が少なく、より安全で確実な治療ができるようになってきています。



1 レーザーで細かく破碎



2 破碎したあとの細かい破砕片を吸引で取り出す

Q. 患者さんにとってのメリットは何でしょうか？

A. 排尿のしづらさや頻尿の症状がある「前立腺肥大症」や、強い痛みや腎機能障害などの症状がある「尿路結石」は、命に関わる病気ではありませんが、生活に大きな影響を与えます。新しいレーザー治療は、体への負担が少なく、短時間で安全に症状を改善できる新しい方法です。

Q. 読者にメッセージをお願いします。

A. 「年齢や持病があるから手術は難しい」と諦めていた方にも、新しい手術治療の可能性が広がっています。私たちは、患者さん一人ひとりの状態に合わせて、最適な治療を提供することを目指しています。少しでも気になる症状がある方は、ぜひ一度ご相談ください。安心して治療を受けられる環境を整えてお待ちしております。

公平医師による「市民公開講座」の開催決定！ 詳細は裏面へ。

「前立腺肥大症・尿路結石症の最新レーザー治療」

講師：診療部長 兼 泌尿器科部長 公平 直樹

令和8年 2月21日（土曜日）

13時30分～14時30分

会場：沼津市立図書館4階 視聴覚ホール

予約不要

参加無料

前立腺肥大・結石治療の常識が変わる！

最新レーザー治療の効果・安全性など医療の専門家がわかりやすく解説。

公平医師のお話が直接聴ける貴重な機会です！お気軽にご来場ください。

ハイブリッドツリウム
ヤグレーザー

PICK UP

特定行為研修を修了した看護師が活躍しています

医師の指示に基づき、専門的な知識と技術を活かして診察の補助を行う特定看護師に、インタビューしました。



■集中治療 村松 大輔さん

①特定看護師を目指したきっかけ

私は集中治療室に所属し、重症患者さんの看護ケアや治療介入を行っています。しかし、医師に患者さんの状態を報告し、指示を受ける必要があるため、介入までに時間を要することを、課題に感じていました。

そこで、特定看護師として自らの判断で必要な医療を適切なタイミングで提供できるようになることで、患者さんの状態悪化の予防や回復の手助けに繋がりたいと考えました。

②今後の意気込み

活動範囲を配属以外の病棟にも広げ、患者さんの病状回復のサポートをしたいと思っています。

■術中麻酔管理 川村 千里さん

①特定看護師を目指したきっかけ

術中の急変対応の際に思うように動くことができなかった経験から、周術期の全身管理や麻酔に関する知識、判断力を養い、麻酔科医と連携して迅速かつ的確な判断ができるようになりたいと思いました。

②今後の意気込み

スキルアップに励むとともに、学んだ知識や技術を教育や指導にも活かしていきたいです。手術室看護の質の向上を目指し、院内では周術期チームの一員として他職種と連携しながら、患者さんの安全な手術を支援していきたいと考えています。



沼津市立病院

NUMAZU CITY HOSPITAL

— 市民のために 共に歩む病院 —

沼津市立病院広報誌「ぬまびタル」

発行：広報委員会・病院管理課企画係

〒410-0302 沼津市東椎路字春ノ木 550 番地

Tel: 055-924-5100 (内線 2370)

Mail: byoin-so@city.numazu.lg.jp

ホームページアドレス: <https://www.numazu-hospital.shizuoka.jp>ぬまびタル
バックナンバー